

【開講日】平成30年 4月25日(水)

はる 三鷹サテライト教室

文学

三鷹

301021

古典を楽しむ

—— 『源氏物語』 卷第六「末摘花」を読む ——

受 講 料 (振込額)	10,500 円				
必携テキスト	『新潮日本古典集成〈新装版〉源氏物語（一）』 新潮社 2,376 円				
講座概要	曜 日	水曜日			日 程
	時 間	13：00 ～ 14：30			4 月 25 日 5 月 9 ・ 30 日
	回 数	全 7 回	定 員	50 名	6 月 27 日 7 月 25 日
	開講場所	三鷹サテライト教室 7F 大教室			8 月 22 日 9 月 12 日
講 師	元本学教授 深澤 邦弘 （ふかさわ く に ひろ）				
	早稲田大学大学院文学研究科日本文学専攻修士課程修了、文学修士。 都立三鷹高等学校、立川高等学校、昭和高等学校教諭2006年3月武蔵野大学文学部教授退職。 専攻は中世文学・国語教育。著書に『平家物語における「生」』新典社研究叢書170、 『青桐―もの一詞いはん―』編著新典社（2014年4月）など。				
内 容	今期は「末摘花」の巻を読みます。その頃、「父宮と死別し独り窮乏の日々を琴を友として過ごす姫のもとへ高貴な若君が訪れ終生生活を支え続けたという」一京の人々がいとおしく語ったこの小話から女房（語り手・作者）は一編の物語を創る「末摘花」の物語である。つとに父宮に先立たれ、仕えていた人々も日を追って去る。荒廃つづく邸に独り琴を弾いてひそやかに棲む「わかんどほり」のこの姫と別離思慕の情に煩悶する十九才の源氏の君との邂逅。姫への憧憬と期待、日を経て実情を知るにつけつゝの失望と不安。語り手（作者）は日常姫と若君に仕える人々の生活を活写しつつ二人の心の奥底と来し方行く末をこまやかに紡いでいく。				
	① 4 月 25 日：末摘花 ② 5 月 9 日： " ③ 5 月 30 日： " ④ 6 月 27 日： " ⑤ 7 月 25 日： " ⑥ 8 月 22 日： " ⑦ 9 月 12 日： "				

世界の幸せをカタチにする。
Creating Peace & Happiness for the World



武蔵野大学

Musashino University

お問い合わせ TEL 042-468-3222
FAX 042-468-3211

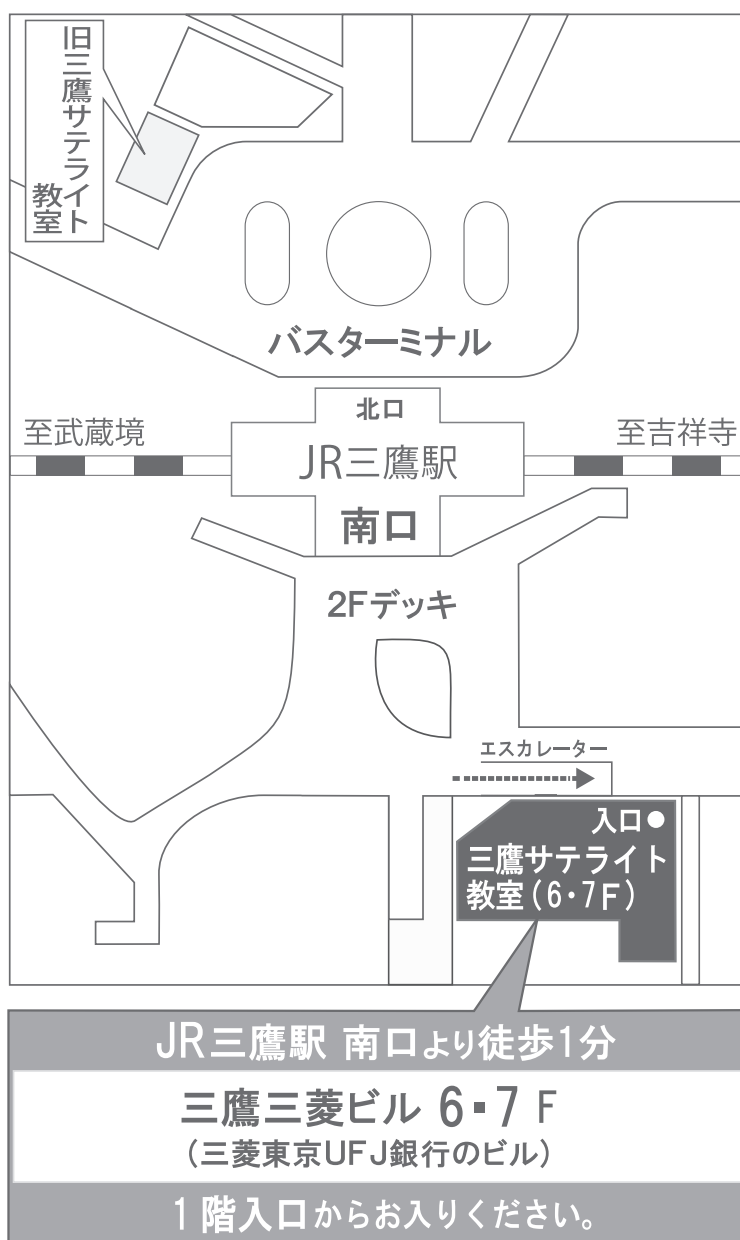
開室日：月～金曜日 9:30～18:00
：土曜日 9:30～15:30 (祝日を除く)

武蔵野大学 社会連携センター

〒202-8585 西東京市新町1-1-20
www.musashino-u.ac.jp

武蔵野大学 三鷹サテライト教室

平成28年3月より南口に移転



- ・ 教室は講座の15分前よりお入りいただけます。
(前の時間に講座がある場合は教室の準備ができるまでお待ちいただくことがあります)
- ・ 教室前の机にある出席簿に○をつけてから教室にお入りください。
- ・ 生涯学習講座登録証を携帯してください。
- ・ 欠席の連絡は必要ありません。
- ・ 駐輪場、駐車場はありませんのでご了承ください。